

貸借対照表
(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	426,488	流動負債	130,446
現金及び預金	262,015	未払金	126,504
売掛金	111,698	賞与引当金	1,006
仕掛品	6,129	預り金	646
貯蔵品	12,088	未払法人税等	2,289
前払費用	11,215		
未収消費税	21,743	固定負債	300,000
仮払金	1,580	長期借入金	300,000
その他	16		
		負債合計	430,446
		純 資 産 の 部	
固定資産	—	株主資本	△3,958
有形固定資産	—	資本金	100,000
工具、器具及び備品	14,896	資本剰余金	1,161,159
減価償却累計額	△14,896	資本準備金	980,000
		その他資本剰余金	181,159
		利益剰余金	△1,265,117
		その他利益剰余金	△1,265,117
		繰越利益剰余金	△1,265,117
		純資産合計	△3,958
資産合計	426,488	負債・純資産合計	426,488

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- 仕掛品： 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。
- 貯蔵品： 最終仕入原価法を採用しております。

2 固定資産の減価償却の方法

- (1)有形固定資産： 定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
・工具、器具及び備品：2年
- (2)無形固定資産： 定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、将来の利用可能期間を見積もり、当社が合理的と判断した以下の耐用年数による定額法を採用しております。
・ウェブを利用したサービス提供に係るもの：2年
・商標権：10年

3 引当金の計上基準

- (1)賞与引当金： 従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。
- (2)貸倒引当金： 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

4 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法は、税抜方式によっております。

2. 損益計算書に関する注記

1 減損損失

(1) 減損損失を認識した資産または資産グループの概要

用途	種類	場所
健保向けkencom等	工具・器具及び備品、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定、商標権	東京都渋谷区、東京都中央区

(2) 減損損失の認識に至った経緯

健保向け kencom の固定資産における収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったため、減損損失を特別損失として計上しております。

(3) 減損損失の金額

工具、器具及び備品	1,144	千円
ソフトウェア	97,135	千円
ソフトウェア仮勘定	76,997	千円
商標権	1,831	千円
合計	177,109	千円

(4) 資産のグルーピングの方法

原則として、ビジネスユニット単位にグルーピングを行っております。

(5) 回収可能価格の算定方法

減損損失の測定における回収可能価格は使用価値によっておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能額はゼロと算定しております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式の総数

普通株式 1,960 株

2 当事業年度の末日における自己株式の数

該当事項はありません。

3 剰余金の配当に関する事項

(1)配当金支払額

該当事項はありません。

(2)基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当事項はありません。

4 新株予約権に関する事項

該当事項はありません。